取扱説明書 ― 簡単取り付け型 ― 保管用

(Y084A)D

yamada

丸型蛍光ランプ・シーリングライト

（傾斜天井付け可能型）

ご使用になられる前に必ずお読みください

この取付説明書には取り付け方やランプの交換方法、お手入れのしかたなどご使用にあたり重要な事柄が書かれてあります。
この取付説明書を大切に保管して、お手入れなどの際にご利用ください。

※インバータ照明器具の近くでは、他の電気製品の赤外線式リモコンが動作がしなくなる場合が、ごくまれにありますのでご注意ください。

お客様へ　：配線器具の取り付け工事は必ず電気工事店（有資格者）にご依頼ください。
一般の方の工事は法律で禁じられています。
工事店様へ：工事が終わりましたら、この取付説明書を必ずお客様にお渡ししてください。

■仕　様

タイプ	適合ランプ	本数	使用電圧/周波数	消費電力	使用畳数
76Wタイプ	FHC20E　FHC34E	各1本	AC100V(±6%) 50Hz/60Hz共用	69W	6～8畳
86Wタイプ	FHC27E　FHC34E	各1本		79W	8～10畳
114Wタイプ	FHC20E　FHC27E　FHC34E	各1本		95W	10～12畳

※常夜灯（各タイプ共通）：E12 ナツメ球 AC100V 5W･･･1 個

この取付説明書のマークについて

⚠警告　説明書中の「警告」は、重大な人身事故の原因となる危険を示します。
⚠注意　説明書中の「注意」は、物損及び障害事故の原因となる危険を示します。
❗　このマークのついている説明文は、必ず守ってください。
⃠　このマークのついている説明文は、行ってはいけない禁止事項です。

取り付け・取り扱い上の注意

すぐ取り付けられます

配線器具の取付工事が必要です（電気店・工事店へ依頼してください。）

配線だけの場合

付属の引掛けシーリングボディーを取り付けてください。

アウトレットボックスの場合

市販の引掛け埋め込みローゼットを取り付けてください。

⚠警　告

⃠ 破損したりガタついている配線器具には取り付けないでください。配線器具を取り替えてから器具を取り付けてください。
★器具の落下事故や漏電による火災、感電事故の原因となります。

破損しているもの　ガタつくもの

⃠ 樹脂製ボックスカバーには取り付けないでください。★器具の落下事故の原因となります。

❗ 付属の引掛けシーリングボディーの取り付けや配線器具の交換は、有資格者による工事が必要です。
電気店または工事店に依頼してください。★一般の方の工事は法律で禁止されています。

⃠ 一般屋内用器具です。屋外や浴室など湿気の多い場所では使用できません。★感電事故や漏電の原因となります。

⃠ 器具の改造や構成部品の変更、改造はしないでください。★火災や感電事故の原因となります。

⃠ 器具の下面を布などで覆わないでください。★過熱して、発煙や発火の原因となります。

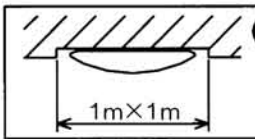
⃠ 次のような場所には取り付けないでください。★器具の落下事故によるけがの原因となります。

ケースウェイにセットされている配線器具

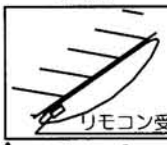
不安定な場所

壁面

45°を超える傾斜した場所



❗ 器具の取り付けには、配線器具を中心に約1m×1mの平面部が必要です。



45°以下の傾斜天井に取り付ける場合

❗ 傾斜方向の下側にリモコン受光部が来るように取り付けてください。
❗ 本体を木ネジで必ず固定してください。

⚠注　意

❗ AC１００V専用です。必ずAC１００Vの電源で使用してください。
★定格電圧より高い電圧で使用すると、過熱し、火災の原因となることがあります。低い電圧で使用すると、不点灯やチラつきなどの不良点灯や、器具の故障の原因となります。

❗ この器具は周囲温度5℃～35℃の中で使用してください。
★過熱して、発煙や発火の原因となります。

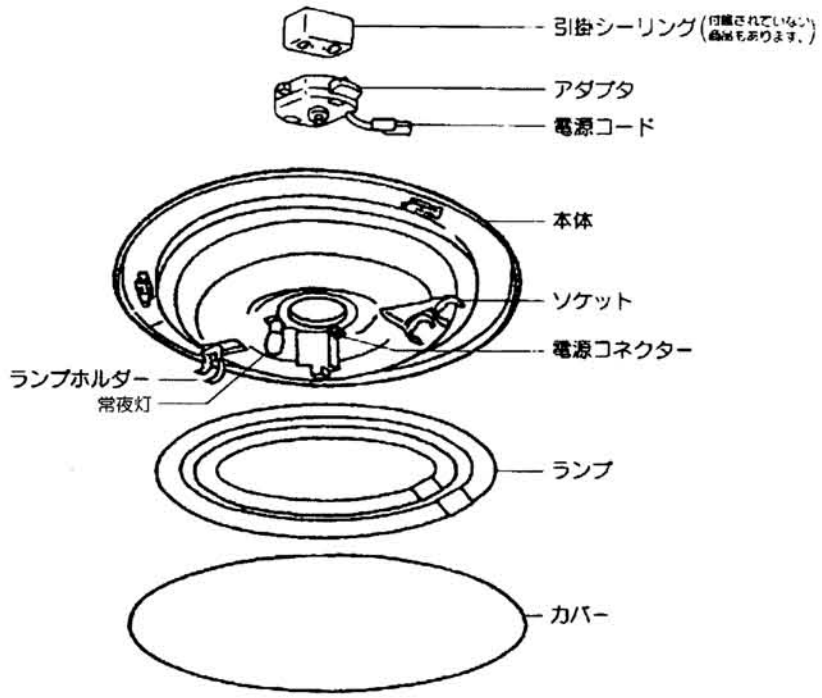
⃠ ヒビの入ったカバーや一部が欠けたカバーは使用しないでください。
★カバーの破損、落下の原因になります。

⃠ 温度の高くなるもの（ガスレンジやエアコンの吹き出し口など）の近くには設置しないでください。
★器具カバーの変形や火災の原因となります。

⃠ 殺虫剤やカビ取り剤などの薬品をかけないでください。
★変色や材料の変質によるカバーのヒビ割れなどの原因となります。

⃠ 調光器（ライトコントロール）との併用はできません。
★不良点灯や調光器、照明器具の故障の原因となることがあります。

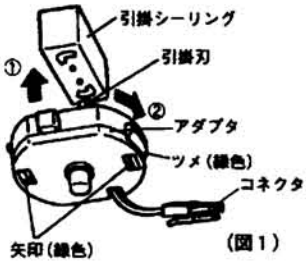
■各部のなまえ　この取扱説明書は同種類の器具と共通になっておりますのでお求めの器具と姿図が違っている場合があります。



- ●リモコン送信器（TG-299）対応機種
  ※リモコン送信器は別売です。
- ●インバーター
  （高周波ガイドライン適合品）
- ●プルレススイッチ機能搭載

■器具の取り付けかた　（必ず壁スイッチのある部屋でご使用ください。）

1. 天井の引掛けシーリングアダプタを取り付けてください。



（図1）

①引掛シーリングへ二本の引掛刃を挿入します。（図1）
②"カチッ"と音がするまで右に回します。　（図1）

⚠注意

赤いボタンを押さずに左に回し、外れないことを確認してください。
アダプタの取り付けが不十分な場合、落下してけがの原因となります。

アダプタのはずしかた

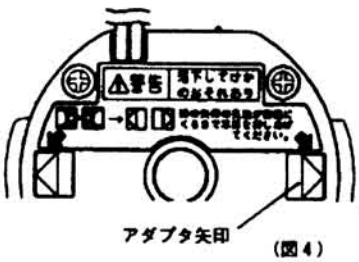
（図2）

赤いボタンを押したまま左に回してください。（図2）

2. 本体を取り付けてください。

⚠警告　取り付けが不完全ですと、落下してけがの原因となります。

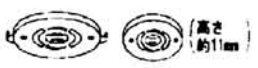
（図3）



（図4）

注）器具本体裏のスポンジは、梱包材ではありません。はがさないでください。
（天井面に器具を取り付けるための緩衝材です。）
①本体の中央寄りを手で支え、アダプタとの位置をあわせて本体をまっすぐに押し上げます。（図3）
②本体固定時、アダプタ矢印の先端が両端にくるまで押し上げて下さい。（図4）

JIS C8310シーリングローゼットに記載の引掛シーリングに適応できます。

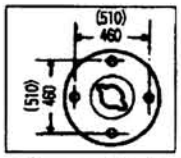
埋込引掛シーリングの場合	角形・丸形引掛シーリングの場合
	
高さ約11mm	高さ約22mm
1段回押し上げてアダプタのツメを図5の金属の段に取り付けてください。（図5）	高さ約22mm 2段回押し上げてアダプタのツメを（図5）のプラスチックの段に取り付けてください。（図5）

（図5）

③アダプタコードのコネクタを電源コネクタに差し込みます。
抜けないことを確認して下さい。　（図6）

（図6）

本体を取り付ける際、
図７のノックアウトを
部屋の向きと平行に
あわせてください。
傾斜天井に取り付ける
場合や、本体を取り付
けた後、本体が安定し
ないときは図７のノック
アウトを利用して木ネジ
で止めてください。
※( ) 内は 114W 用の場合



(図7)

本体のはずしかた

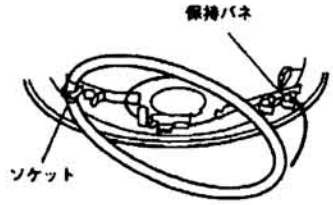
(図8)

(図9)

アダプタコードのコネクタを電源コネクタからはずします。
コネクタをつまみながら引き抜いてください。 (図8)
両手で本体を押しながら中央にある赤いボタンを押してください。 (図9)

3. ランプを取り付けてください。

注）包装時に装着済み



(図10)

(1) 本体に径の大きいランプから順に取り付けます。 (図10)
①ソケット、②保持バネの順でランプを本体に取り付けます。

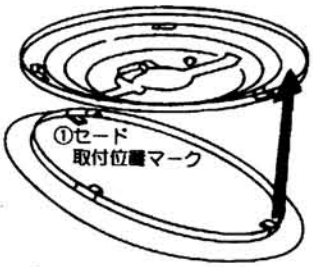
ランプのはずしかた
ランプ径の小さいランプから外してください。

⚠ 注意
ランプをソケットに確実に取り付けてください。
取り付けが不十分ですと、点灯しなかったり火災の原因となります。

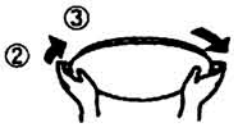
●リモコン送信機（別売）をお使いになる場合は、セードを取り付ける前にリモコン受信器のチャンネルを設定します。
詳しくは次ページの（リモコンスイッチによる点灯状態切り替え方法）をお読みください。

4. セードを取り付けてください。

①セードと本体の取付位置マークを合わせます。(図11)
②セードと本体を合わせます (図11)
③ "カチッ" と音がするまで、セードを右に回してください。(図12)



(図11)



(図12)

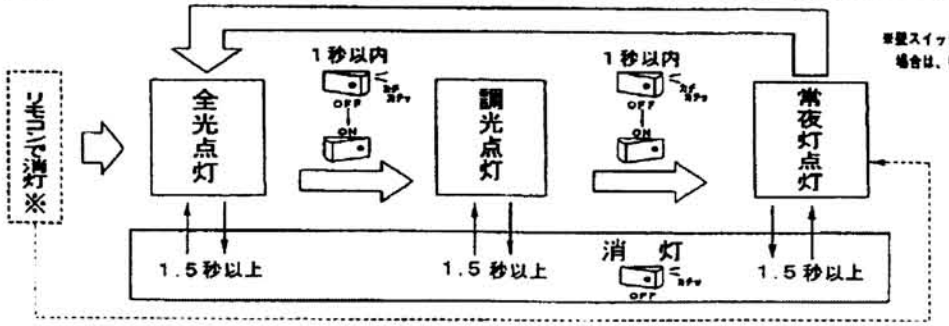
⚠ 警告
セードを本体に確実に取り付けてください。
全てのセード取付金具にセードが取り付いたことを確認してください。
取付が不十分ですと、落下してけがの原因となります。

セードのはずしかた
"カチッ" と音がするまで、セードを左に回してください。

■器具の使い方

壁スイッチ操作による点灯状態切り替え方法

プルスイッチレス機能・・・ この機能は、壁スイッチの操作によって、点灯状態を切り替えることができます。
器具本体内蔵のマイコンが、１秒以内の電源遮断を感知すると、次の点灯状態へ切り替わる「スイッチング機能」をはたらかせます。



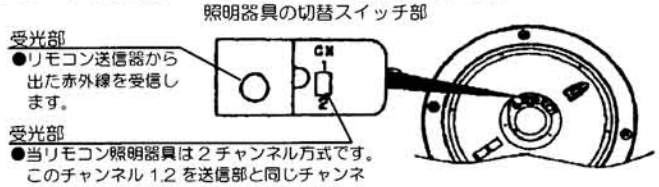
※壁スイッチをOFFする前にリモコン操作で器具を消灯状態にしておいた場合は、壁スイッチを再びONにすると常夜灯点灯になります。(←)

(ご注意)
1個の壁スイッチで２台以上のプルスイッチレス機能搭載器具を操作することはお避けください。同時に切り替わらない場合があります。

リモコンスイッチ操作による点灯状態切り替え方法

●本体のリモコン受信器のチャンネルを設定します。

照明器具の切替スイッチ部



受光部
●リモコン送信器から出た赤外線を受信します。

受光部
●当リモコン照明器具は２チャンネル方式です。このチャンネル 1,2 を送信部と同じチャンネルにしてご使用ください。

※このチャンネルは、出荷時チャンネル１に設定してあります。

ご注意
●万一、動作に異常が生じた場合は電源を一度切って、入れ直してください。
（壁スイッチを一度切るか、壁スイッチが無い場合は、電源コネクタを一度外し、取り付け直してください。）

●リモコンスイッチ

1．壁スイッチを「ON」にします。
2．リモコン送信機のチャンネル番号を受信器のチャンネル番号に合わせます。
3．リモコン送信機の点灯モードボタンを押して点灯させます。

※（リモコン送信機（別売）の詳しい操作方法については リモコン送信機の取扱説明書をご覧ください。

※ご使用にあたって
●お出かけの際や長時間使わないときには、壁スイッチを『ＯＦＦ』にしてください。
★リモコンで消灯し、壁スイッチが「ON」の状態の場合、リモコン待機の電力（約１W）を消費します。
★リモコンで消灯し、壁スイッチが「ON」の状態で停電が起きると、停電が回復したときに、点灯状態になることがあります。

■お手入れのしかた　常に明るく使っていただくために、６ヶ月ごとに器具のお掃除をしてください。

⚠警　告

●ランプ交換やお手入れの際は、必ず電源を切ってください。感電の原因となります。
●セードのお手入れは取りはずしてお手元で行ってください。落下してけがの原因となります。
●器具、ランプは水洗いしないでください。故障、感電の原因となります。

〈ご注意〉
■ガソリンやシンナー、ベンジンなどの約品で器具をふいたり、殺虫剤をかけたりしないでください。
変質、変色、故障の原因となります。

■器具の汚れは、やわらかい布を中性洗剤に浸し、よくしぼってからふきとってください。

■木や布セードのホコリはハケやブラシでとってください。
■ランプは取り外して、乾いた布でふいてください。
ランプはていねいに扱ってください。
■ランプは取り外して、乾いた布でふいてください。
■この器具の平均寿命の目安は、使用条件環境により異なりますが、約8年～10年です。

●ランプの交換
■ランプの端部が黒ずんだり、暗くなりましたら早めに交換してください。
■ランプ交換の際は器具のワット数に応じた東芝蛍光ランプネオスリムとご指定ください。

■修理サービス

故障ではありません

●一本でもランプの寿命がくると保護回路が働き、他のランプも消灯し、常夜灯が点灯します。
必ず電源を切って、すべてのランプを交換してください。（ランプを交換した後、点灯切替を行って再点灯してください。）
それでも点灯しない場合は、器具の故障が考えられます。サービス窓口までご連絡下さい。
（ランプ寿命に差がある状態で使用すると、器具効率が下がり不経済です。ランプ交換の際はすべてのランプを新品に交換してください。）
●冬場など、周囲温度が低いとき、明るくなるのに時間がかかったり、点灯直後にちらつきが発生することがあります
●点灯中や、消灯直後、プラスチックの収縮がおこり、”ピシ・ピシ”という摩擦音を生じる事があります。
●ランプが点灯するとき、ランプ管端部が赤く光ることがあります。
●器具を使用中、近くでラジオやテレビを使用されますと雑音が入る場合があります。
雑音が入る場合、照明器具をラジオ、テレビの距離をできるだけ遠ざけるか、それぞれの向きを変えてください。
●照明器具交換の目明日は、使用環境により異なりますが約８～１０年です。
●電源の停電などで明るさが切り替わったり、切り替えができなくなったりする場合があります。その場合は、壁スイッチ等で１度消灯すると正常動作に戻ります。長時間お使いにならない場合は、壁スイッチでの消灯をお願いいたします。

■アフターサービスについて

ご使用中、器具が普段と違った状態となりましたら直ちに使用を中止し、器具の型番（器具本体のラベルでご確認ください。）、
故障の状況、ご使用期間をご確認の上、お買い上げいただきました販売店、もしくは別紙の山田照明サービス受付窓口にご相談ください。